

音楽科学習指導案

I 題材 おはやしのせんりつをつくろう

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性等

旋律づくりの楽しさを味わい，協働して進んで旋律づくりに取り組む態度

①知識・技能

リズムと音で旋律が構成されていることへの理解や，音楽の仕組みの変化を生かして，旋律を構成する技能

②思考力・判断力・表現力等

旋律を聴き取り，音楽の仕組みの変化を生かし，旋律のリズムや音を工夫してつくったり，味わって聴いたりする力

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

A表現（3）イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら，音楽の仕組みを生かし，思いや意図をもって音楽をつくること。

B鑑賞（1）イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り，楽曲の構造に気を付けて聴くこと。

〔共通事項〕（音楽を特徴付けている要素）旋律，リズム（音楽の仕組み）変化（用語）2分音符，4分音符，8分音符

(3) 本題材の学習とその価値

本題材は，お囃子をテーマに，リズムに音を当てはめたり，リズムや音を変化させたりしながらリコーダーで短い旋律づくりをする学習である。その価値は以下のとおりである。

音楽づくりの活動は，一人一人が音楽を一から作りあげるため，自分の思いや意図をもって表現し，自分で音楽をつくることの楽しさを味わうことができる。リズムフレーズをつくった経験のある子どもたちにとって，そこへ音を組み合わせることで旋律づくりをすることは，リズムと音で旋律が構成されていることへの理解につながる。

お囃子はお祭りの際に演奏される音楽で，各地域にあるそれぞれのお祭りに密着して発展してきたものである。前橋市の各地域のお祭り等でも演奏されており，一度は耳にしたことのある子どもも多く，表したい音楽表現を見出す教材として適している。また，五音音階でできているものが多いため，3年生で新たに学習した音階や音符（2分音符，4分音符，8分音符）を用いて，少ない音でまとまりのある音楽をつくることことができる。自分がつくった旋律と友達の旋律をつなげて，一緒に考えながらオリジナルお囃子を完成させることで，自分の旋律が一部となって音楽ができる喜びを感じられるとともに，短い旋律をつなげて1つの音楽ができることを理解す

ることにもつながっていく。

試奏や演奏にお囃子の笛の音色に近いリコーダーを用いることは、篠笛の音色に近く、お囃子の雰囲気を出すとともに、既習のリコーダー曲から発想を得て、旋律づくりに生かすことができる。また、友達がつくったオリジナルお囃子を一緒に演奏することで、さらに多様な旋律を進んで演奏したりつくったりしてみたいという態度を育むことができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、4年「きょう土や日本の音楽」で、リズムを組み合わせてリズムフレーズをつくり、それに合うように五音音階の5つの音を用いてお囃子の旋律づくりをしながら、音を音楽に構成する学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、2年「くりかえしの音楽」において、音楽の仕組みの反復を生かしながら、6つのリズムパターンの中から4つを選び、組み合わせてリズムフレーズをつくる学習をしてきた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① 音楽の仕組みの反復を理解し、リズムパターンを組み合わせてリズムフレーズをつくれるようになってきている。このような子どもたちが、リズムと音で旋律が構成されていることを理解できるように、リズムに「レ・下・ラ」の音を当てはめて旋律づくりをできるおはやしカードを用意する。また、音楽の仕組みの変化を生かして、旋律を構成することができるように、最初に作ったオリジナルお囃子を基に、リズムや音を変化させて続きの旋律づくりをする活動を設定する。
- ② 音楽の仕組みの反復を生かして、リズムパターンの組み合わせを工夫してきている。このような子どもたちが、旋律を聴き取り、音楽の仕組みの変化を生かし、リズムや音の工夫の視点を得ることができるように「レ・下・ラ」の音で構成されたリズムの違う既習曲「かりかりわたれ」を演奏する時間を設定する。また、主な旋律を聴き取り、そのおもしろさや音楽の仕組みの変化を味わって聴くことができるように、笛の旋律が聴き取りやすい地域のお囃子の音源を用意する。
- ③ 音楽の仕組みの反復に関心をもって、友達と一緒に進んで様々なリズムフレーズづくりに取り組んできている。このような子どもたちが、旋律づくりの楽しさを味わい、音楽の仕組みの変化を生かして、進んで旋律づくりや演奏に取り組むことができるように、グループの旋律を友達と一緒に考えたり演奏したりする活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい オリジナルお囃子と既習曲「かりかりわたれ」のリズムを比較し、グループで旋律づくりを通して、リズムによる曲想の違いに気づき、オリジナルお囃子のリズムや音を工夫することができる。
- 2 準備 おはやしカード 音符カード ホワイトボード ホワイトボードマーカー

3 展 開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・‘にぎやかで元気なお祭り’に合ったお囃子の旋律をつくってみたのだったな。もう少し元気な感じを出すために、後半の旋律の音を変えてみたらどうか。 ・「かりかりわたれ」も‘レ・下・ラ’の音だけで吹けるんだね。僕たちのオリジナルお囃子も音だけでなく、リズムが細かくなると、より元気な感じを表せそうだね。 <p>2 旋律のリズムや音を工夫し、グループでオリジナルお囃子をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な感じを出すために、2分音符を、音符カードを使って細かい4分音符に交換してみたらどうか。 ・4枚目のおはやしカードの2分音符を4分音符に交換してみたよ。最初につくったものと吹き比べたら、変えた方がリズムが細かくなって元気な感じがしたよ。 ・リズムを変えたオリジナルお囃子を吹いてみたら、後半にリズムが細かい音符を使う旋律だから、お祭りに人がだんだん増えてきて、元気になっていく感じがしたね。 ・人がだんだん増えてきて、元気になるようなオリジナルお囃子をつくっていきたいね。3枚目と2枚目のおはやしカードを入れ換えたらイメージとは違うかな。最初のリズムも変えて試しに吹いてみようか。 <p>3 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕たちのグループは、‘だんだん人が集まってきて元気が出てくる’感じのオリジナルお囃子ができたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○‘にぎやかで元気なお祭り’に合ったオリジナルお囃子を工夫しながらつくるという見通しをもてるように、おはやしカードをつなげたり順番を入れ換えたりしながら演奏する時間を設定し、変えたい旋律の有無を問いかける。 ○リズムを工夫する視点に気付けるように、‘レ・下・ラ’の音で構成された既習曲「かりかりわたれ」を演奏するよう促し、リズムの違いによる曲想の変化を問いかける。 ○旋律のリズムを変えられるように、同じ音価の音符を入れ換えられる音符カードを配付する。 ○グループで最初につなげたオリジナルお囃子と比較しながら旋律の音やリズムを工夫できるように、考えたリズムや音を、新しいおはやしカードに記入していくよう伝える。 ○グループのお祭りのイメージを膨らませながら旋律づくりをできるように、リコーダーで試奏した旋律の曲想を伝え合うよう促す。 ○グループのお祭りのイメージを基に、さまざまな旋律づくりを楽しめるように、イメージに合わせてリズムや音を変えたりおはやしカードを入れ換えたりしてみるよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">旋律を聴き取り、グループのイメージに合うように、オリジナルお囃子のリズムや音を変えている。 <おはやしカード・表現②></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○旋律のリズムを変えたオリジナルお囃子のよさを自覚できるように、オリジナルお囃子のイメージと演奏を、隣のグループと発表し合うよう伝える。

指導と評価の計画（全3時間）

目標	お囃子のテーマを基に、旋律の構成を理解し、音楽の仕組みの変化を生かしながら、リズムや音を工夫して旋律づくりをする。				
評価 規準	① 知識・技能)リズムと音で旋律が構成されていることを理解している。 音楽の仕組みの変化を生かし旋律を構成することができる。 ②思考力・判断力・表現力等)旋律を聴き取り、音楽の仕組みの変化を生かして、旋律のリズムや音を工夫してついたり、味わって聴いたりする。 ③学びに向かう力・人間性等)旋律づくりの楽しさを味わい、友達と協力して、進んで旋律づくりや演奏に取り組もうとしている。				
教材	ア…【鑑】 前橋市のお囃子 若一囃子（若宮町） 他 イ… オリジナルお囃子				
過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法（観点）>
であ う	1	ア イ	○前橋市のお囃子を聴いて、『‘レ・ド・ラ’を使って‘にぎやかで元気なお祭り’のお囃子の旋律をつくらう』という学習のめあてをつかみ、一人一人て簡単なお囃子の旋律をつくる。	○主な旋律の動きや音楽の仕組みの変化に気付けるように、笛の旋律が聴き取りやすい、地域のお囃子の音源を用意する。 ○リズムと音で旋律が構成されていることを理解できるように、リズムに‘レ・ド・ラ’の音を当てはめて旋律づくりをできるおはやしカードを用意する。	◇主な旋律を聴き取り、そのおもしろさや音楽の仕組みの変化を味わって聴く。 <学習プリント・発言②> ◇リズムと音で旋律が構成されていることを理解している。 <おはやしカード・表現①>
ふ か め る	1		○グループでリズムや音を工夫しながら、‘にぎやかで元気なお祭り’に合うオリジナルお囃子の旋律づくりをする。（本時）	○旋律を聴き取り、リズムや音の工夫の視点を得られるように、‘レ・ド・ラ’の音で構成されたリズムの違う既習曲「かりかりわたれ」を演奏する時間を設定する。	◇旋律を聴き取り、グループのイメージに合うように、オリジナルお囃子のリズムや音を変えている。 <おはやしカード・表現②>
ま と め る	1		○グループでオリジナルお囃子の続きの旋律づくりをし、友達と一緒に演奏し合う。	○旋律づくりの楽しさを味わえるように、グループのオリジナルお囃子を友達と一緒に演奏する活動を設定する。	◇旋律づくりの楽しさを味わい、音楽の仕組みの変化を生かして、友達と進んで旋律をついたり演奏したりしようとしている。 <おはやしカード・表現>